

平成 19 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 NEC ネットズエスアイ株式会社
 (英 文 名 : NEC Networks & System Integration Corporation)
 代 表 者 名 代表取締役執行役員社長 山本 正彦
 (コト 番号 1973 東証第一部)
 問 合 せ 先 経 理 部 長 深谷 祥一
 (TEL 03-5463-1111)

平成 19 年 9 月中間期 個別業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 5 月 15 日の決算発表時に公表しました平成 19 年 9 月中間期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日) の個別業績予想を下記のとおり上方修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成 19 年 9 月中間期 個別業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)

(単 位 : 百 万 円 、 %)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成 19 年 5 月 15 日発表)	106,500	3,400	3,400	1,750
今回修正予想 (B)	107,000	4,400	4,450	2,900
増 減 額 (B-A)	500	1,000	1,050	1,150
増 減 率	0.5	29.4	30.9	65.7
前期 (平成 18 年 9 月中間期) 実績	84,703	1,831	1,897	1,027

2. 業績予想修正の理由について

平成 19 年 5 月 15 日に公表いたしました中間期の個別業績予想に対し、予想営業利益が 44 億円 (前回予想比 29.4%増)、予想経常利益が 44 億 50 百万円 (前回予想比 30.9%増)、予想当期純利益が 29 億円 (前回予想比 65.7%増) となる見込みであります。

営業利益が改善する主な要因は、比較的利益率の高いネットワークインテグレーション・サポートサービス事業の売上高が増加したこと、また、機器等販売事業の原価率が改善したことに加え、当社が従来から全社を挙げて取り組んでおりますトータルコスト改革活動の成果として、後戻り工数の削減などで原価低減が図られたこと等によるものであります。

経常利益、当期純利益につきましても、上記の要因によるものであります。

なお、平成 20 年 3 月期通期業績 (連結・単独) につきましては、上記の中間業績予想の上方修正を踏まえ、11 月 14 日に予定しております中間決算発表時にお知らせいたします。

(ご参考) 平成 19 年 9 月中間期 連結業績予想数値 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)

このたびの個別業績予想の上方修正に伴い、連結の業績予想は以下の通りとなる見込みであります。

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 19 年 5 月 15 日発表)	118,000	3,500	3,500	1,550
今回修正予想 (B)	118,000	4,200	4,200	1,900
増 減 額 (B-A)	—	700	700	350
増 減 率	—	20.0	20.0	22.6
前期 (平成 18 年 9 月中間期) 実績	114,639	3,011	2,969	1,540

以 上